

7月6日（水）

みなさん、おはようございます。

早いもので、今日を含めて、あと10日学校に来ると、いよいよ楽しみな夏休みが始まります。

6月の終わりごろから、とっても蒸し暑い日が続いていますが、みなさんは、コロナと熱中症の間で大変な中でも、とても頑張って学校生活を送っていると思います。

そんな熱い中ですが、この前、給食の片づけで食器を運びながら、階段を下りているあるお友達が、給食の調理員さんに「ごちそうさまでした！おいしかったです！」と、とっても元気に、自然に、お礼を伝えている場面を見かけました。その様子を見て、先生は調理員さんではありませんが、先生まで、心がドキっとして、とてもうれしくなっていました。人の話す言葉とは、こんなにも人をあたたかい気持ちにさせるものかと思いました。

このことだけではなく、教室などを毎日のぞいていると、あたたかい言葉を自然に、工夫してかけてくれる人がたくさんいます。本当にうれしいことです。

さて、話を変えます。みなさんは「ぞうさんの歌」を知っていますか？「ぞうさん、ぞうさん、お鼻が長いよね、そうよ、母さんも長いよ」の歌です。

じつは、この歌を作詞した まど みちお さん という方は、ぞうさんの歌について「子供のぞうが、『お前の鼻は長い』と言われ、いじ

められてしまったことから始まる歌」と話していたそうです。とても驚きました。

子供のぞうは、お友達からそんなことを言われて、落ち込んで家に帰ります。そして、お母さんぞうにそのことを話しました。すると、お母さんぞうは、「お母さんも、お鼻が長いだよ。ぞうの鼻が長いのは、ぞうの個性なのよ。生き物は、みんなそれぞれに個性をもっているのよ。」

「個性は、みんな違うからいいんだよ。だから、そんなことで落ち込まないで、明日からまた元気にお友達と遊んでね。」とやさしく話しました。

大好きなお母さんぞうから、そう教えてもらった子供のぞうは、お友達に「そうよ、母さんも長いだよ」と答えたとのことでした。

ぞうさんのお母さんが言っているように、私たちも、お互いの個性を認め合わなければならないと思います。たとえば、自分とは、考え方や話し方が違って、雰囲気違って、それはすべての人の個性です。

ほかの人から、「みんなと違う」という理由で、何か言われるものではないのです。

個性というのは、みんなそれぞれ違います。違うから、いいのです。

本当に大切なことは、「君は君のままでいいんだよ。」「ありのままの君が好きなんだよ。」と言い合える関係をつくることだと思います。

今日は、「ぞうさんの歌」から、お互いの個性を大切にすることについて、考えてみました。

以上で、お話を終わります。